

紫波ネット

SHIWA-NET

人と人をつなぎ地域をサポートする広報紙

10

No.825 | 2011



季節の
Photo

土館地内の
稲刈り風景



紫波ふる里センター「かかしまつり」

今月の表紙 SHIWA-NET

「こっちにまいてー!」

「フルーツの里まつり」で餅まき

町内全10カ所の産直で9月23日、フルーツの里まつりが開催されました。かかしまつりも同時開催の紫波ふる里センターでは、佐比内金山太鼓保存会による太鼓演奏や町内一斉の餅まきなどが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。

教振だより 02

- | | | | |
|----|-------------|----|---|
| 06 | お環のくに紫波 | 20 | こちら、あらえびす記念館
「銭形平次を読み解く」第19回 |
| 08 | 平成22年度決算の状況 | 22 | オガール通信 |
| 12 | 町の人事行政状況 | 24 | シリーズ 行ってみよう 私の好きな紫波百景
きれいな水と空気を育む山王海の秋
「山王海の紅葉」 |
| 14 | 健やかランド紫波 | | |
| 16 | まちの話題・小学生日記 | | |

紫波ネット825号 平成23年10月12日発行

岩手県●紫波町

〒028-3392紫波町日詰字西裏23-1

印刷・川嶋印刷株式会社

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>



教育振興だより

39号

教育振興運動とは、学校、家庭、住民などが総ぐるみで、自主的に地域の教育課題の解決に向けて活動する県独自の取り組みです。

町内でも地区実践協議会ごとに、さまざまな活動を行っています。本年度上半期に活動した各地区の様子や今後の行事について、運営に携わっている小学校副校長が紹介します。



願 い

子どもたちの学力向上、健全育成、健康安全

全県共通課題「家庭学習の充実 読書活動の推進」

5者とその責任（5R運動）

- 子ども 学習意欲を高める
- 親 家庭教育を充実させる
- 教師 学校教育を充実させる
- 地域 地域社会の教育環境を整える
- 行政 さまざまな教育条件を整備充実させる



日詰地区
実践協議会

勉強に集中して取り組む子どもたち

本年度も『夏休み勉強会』を開催

7月26、27の両日、中央公民館で『夏休み勉強会』を行いました。県の共通課題の一つ「家庭学習の充実」の一環として、日詰公民館の協力を得て昨年に引き続いての開催です。夏休みに入ったばかりでとても暑い中でしたが、80人もの児童が参加して、活気あふれる勉強会となりました。子どもたちは、夏休みの課題などの勉強を退職教員の皆さんから丁寧に教わり、各日2時間集中して学習しました。

文部科学大臣賞を受けた読書活動

赤石小学校は「平成23年度子どもの読書活動優秀実践校」に選ばれました。「読書銀行赤石プラン」の地道な実践や、図書ボランティア「キラリ☆」の皆さんの継続した活動が認められたことによるものです。定期的に行われる「読み聞かせ」の活動や「音読・読書の記録」への担任による励まし、校長による表彰が功を奏し、年間読書目標に向けて頑張る児童が増えてきました。

図書ボランティア「キラリ☆」の皆さんによる
ペープサート（紙人形劇）



赤石地区
実践協議会

古館地区
実践協議会



中学生の進行による地区民運動会

中高生が大活躍の教振活動

古館地区民運動会は7月10日、晴天のもとで開催されました。悪天候で中止となった昨年の分まで頑張ろうとする地域の皆さんの熱意が感じられました。

中学生たちは、社会参加活動の実践活動として、競技だけでなく、準備をしたり、進行係を務めたりして、地域の皆さんに中学生のエネルギーをお見せできたと思います。

11月5日(土)の町内一斉参観日には、古館小学校体育館で、紫波総合高校吹奏楽部員による「ふれあいコンサート」を予定しています。

ボランティアについて考えてみよう

NPO法人「風・波デザイン」の代表丸山佑介さんを講師にお招きして、7月10日に「中学生社会参加活動講演会」を実施しました。

参加者は中学生40人と世話人10人。丸山さんは、3月11日の地震発生後、すぐに紫波町災害ボランティアセンターを立ち上げて支援体制を確立したことや、具体的な支援、ボランティアの内容などについてお話ししてくださいました。

子どもたちは「まずは関心を持つこと」や「アンテナを張っていることの大切さ」について学びました。



水分地区
実践協議会

「初めの1歩は自分から！」と語る丸山さん



ボランティアによる読み聞かせが
家庭での読書に役かっています

上平沢地区
実践協議会

「わが家のルール」を親子でつくろう！

上平沢小学校では、例年「わが家のルール」づくりに取り組んでいます。ルールの項目は①読書について ②家庭学習について ③テレビやゲームについて ④お手伝いや自分の役割の仕事について ⑤そのほか各家庭の約束についてで、家族で話し合っ決めていきます。その内容を紙に書いて家の中に張り、家族全員で取り組んでいます。今月は中間反省も行います。

11月5日(土)には、子ども、保護者、地区民が参加して開催される交流集会で、代表の子どもに取り組みについて発表してもらう予定です。

一緒にグラウンドゴルフ

片寄小学校では、昨年度から世代間交流の一環として、片寄地区の老人クラブの皆さんと一緒にスポーツを行っています。今年は6月29日に、校庭で6年生がグラウンドゴルフを行いました。ほとんどの子どもたちは、グラウンドゴルフをやるのが初めてで、老人クラブの皆さんからやり方を聞きながら楽しんで競技していました。冬には5年生がシャッフルボードを行う予定です。

老人クラブの人たちと
グラウンドゴルフを楽しむ6年生



片寄地区
実践協議会

彦部地区
実践協議会



記念館裏の落ち葉を掃く子どもたち

あらえびす記念館の清掃

6月25日、小中学生と保護者で、野村胡堂・あらえびす記念館の清掃作業を行いました。この活動は今年で9年目になります。記念館を訪れた人たちが気持ちよく見学できるように、エントランスのブラシ掛けや周辺の落ち葉の掃き掃除、椅子の清掃、レコード拭きなどを額に汗して一生懸命行いました。終了後は、大ホールで野村館長から野村胡堂についてのお話を聞き、名品の蓄音機でレコード鑑賞をしました。すがすがしいゆったりとしたひとときを過ごすことができました。

水生生物調査

星山小学校の5年生10人が7月13日、環境マイスター9人の皆様のご指導のもと、大星堤から流れ出ている赤川上流で「水生生物調査」を行いました。

調査の結果、きれいな水の指標となるサワガニやヘビトンボなどが多く、きれいな川であることが分かりました。川に親しみ、川を理解し、ひいては環境問題への関心を呼び起こすきっかけとなる有意義な調査でした。

水生生物を夢中で
採集する子どもたち



星山地区
実践協議会

佐比内地区
実践協議会



実りを祈り丁寧に

ピカリン農園が開園しました

農業体験、収穫体験のため、今年も開園しました。農園管理部長の松坂茂さんをはじめ、地域の皆さまのお力添えをいただいています。6月7日は、きれいに畝が立てられた畑に1～3年生が集合。サツマイモの苗が配られ、一斉に植栽しました。

7月30日は4～6年生がソバの種まきを行いました。小学生が種まきした後に、大人が熊手で土をかけて仕上げました。

収穫祭が楽しい「ピカリン農園」です。

赤沢地区
実践協議会



みんなで、しっかり準備運動！

汗だくの地区民運動会

最高気温が33度という晴天の7月17日、「例年なら雨の心配をしながら迎える地区民運動会だが、今年は暑さで熱中症にならないか心配…」という赤沢体育会長藤原さんのあいさつで地区民運動会が始まりました。

中学生も小学生も、暑さを元気で吹き飛ばしながら、地域の一員として各地域の選手として活躍しました。中学生は綱引き、リレーなど競技のほか、放送係や準備係などの係活動にも積極的に参加し、運動会を盛り上げました。

長岡地区
実践協議会



高橋先生の説明を受け、紙芝居作りに挑戦

夏休みの『こども憩いの広場』

長岡公民館で7月28日、夏休み中の家庭学習と読書活動を支援するため、小中学生を対象に「こども憩いの広場」を開催しました。小学生26人は「勉強会」と自分が読んだ本の「紙芝居作り」を、中学生14人は「おやつ(ゼリーとクッキー)作り」をしました。

子どもたちは、地元出身の2人の大学生に勉強を教えしてもらい、高橋邦法先生(元高校教師)、北日本クッキングカレッジの七木田京子先生には調理の指導を受け、楽しく過ごしました。



サマーワーク

紫波町社会参加活動
中堅リーダー研修会



●アイスブレイク・自己表現講座

講師：盛岡教育事務所 主任社会教育主事 **大森健一さん**

●コミュニケーション講座

講師：岩手県男女共同参画センター **内城寛子さん**

●講演「夢に向かって」

講師：バンクーバー冬季パラリンピック
アルペンスキー日本代表 **横澤高德さん**

サマーワーク（紫波町社会参加活動中堅リーダー研修会）は、7月30日にサン・ビレッジ紫波で行われました。町内の中学生91人、紫波総合高校生9人が参加し、アイスブレイク・自己表現講座、コミュニケーション講座を受講し講演を聴きました。

参加者の中から8人の感想を紹介します。

紫波第二中学校 2年

藤原 一真君



アイスブレイクでは、いろいろなことをやって楽しかったし、たくさんの人とふれあえたので良かったと思います。これを地域のひととやれたらいいなと思いました。

紫波第三中学校 1年

畠山 祐菜さん



アイスブレイクでは、楽しいゲームをやつて知らない人ともふれあえました。友達のつくり方はこんなふうにしてもいいなあと思いました。

紫波第一中学校 2年

伊勢 和輝君



班ごとに分かれての自己表現講座は、班のみんなでコミュニケーションをとることができ、劇の構成や

本番がうまくいきました。初対面のひとと会話や行動がうまくいき、共によくできたと思います。

紫波第一中学校 2年

寺澤 茜さん



自己表現講座では、6人チームでお芝居をしました。グループのメンバーは全員知らない人たちで慣れるまで大変でした。でも、リーダーがうまく進めてくれたおかげで無事おもしろいお芝居をつくることができました。ほかのグループのお芝居も同じ台本なのに、どれも違ったものができていてすごくおもしろかったです。

紫波第三中学校 1年

佐藤 岳君



コミュニケーション講座では男女の関わり方や、親しい人同士でも、自分の考えを言わないと、一方的な会話になってしまう、自分が損をするだけでなく、相手との関係も悪くなってしまうということを学びました。そして、相手のことを考えて、それを踏まえて自分の考えも大事にしていけばいいと思いました。

紫波第二中学校 2年

舘 叶美さん



講演を聴いて「夢を持つと人は変わる」この言葉を大切に

いきたいと思いました。どんなにつらくても一人じゃないことも分かったし、挑戦していくことの大切さをあらためて教えていただきました。横澤さんのお話を聞くことができて本当に良かったです。

私もこれからどんな壁に当たつても気持ちを強くもつていきたいです。最後まで夢を追いかけていきたいと思います。

紫波総合高校 2年

大端 美月さん



講演を聴いて、夢はあきらめずに、いろんなことに挑戦して、うれしさや喜びを味わえる人生がよいと思いました。たとえ失敗してもすぐじけたりせず立ち上がる気持ちを忘れないようにしたいです。

紫波総合高校 2年

熊谷 幸大君



今日のサマーワークでは、さまざまなことを体験し、学ぶことができたので良かったです。

今回学んだことをこれからの生活に生かすようにしたいです。また、これからの生徒会活動にも取り入れて明るい活発な学校をつくれるように頑張りたいです。今回はとても貴重な体験をすることができたので良かったです。

環境のくに 紫波

簡単チャレンジ！

段ボールでコンポスト

エコな生活の第二步、段ボールを利用した「コンポストづくり」を始めませんか！



集積所に出す生ごみを減らして資源循環に役立てる。そんなエコな暮らしを手助けする「段ボールコンポスト」。昨年度から、紫波町ごみ減量女性会議が中心となり、町内の環境関連団体や町と連携して普及活動をしています。これから外に出るのが億劫な季節となります。室内で手軽にできる段ボールコンポストを始めてみませんか。
★コンポストとは堆肥のことです。

室内用に考案

段ボールコンポストの発祥は、北海道と言われています。外に設置する生ごみ堆肥化容器は冬に凍結するため、室内でも使用できるように考案されました。

今回紹介するのは、紫波町ごみ減量女性会議の理事の皆さんが実際に試して成果が現れている作り方です。同会議は、すぐ始めることができるように基材とシャベルを1セットにした「段ボールコンポストキット」を1000円で販売しています。

クーポン券がもらえる

これまでに町内で段ボールコンポストに取り組んだ世帯は約180世帯。8月に開催した段ボールコンポスト講習会では「安心して使える堆肥ができてつ。家庭菜園に使ってみたいですね」「ごみを減らせてクーポン券がもらえるなんてうれしさ2倍です」など、参加者からも好評でした。

町は、段ボールコンポストキット1基に対して500ポイントの補助金(エコビークーポン券)を交付しています。

段ボールコンポストの作り方

①用意するもの

○容器 厚手の段ボール箱1個
(縦30センチ×横45センチ×高さ30センチ程度)

○基材 ピートモス(14～15リットル)、もみ殻くんたん(9リットル)、米ぬか(1リットル)、えこ3堆肥(0・1リットル程度)

○箱の底に敷く下敷き用のダンボール、ガムテープ

②置き場所

○通気性が良く、雨の当たらないところ

③作り方

①段ボール箱から基材が出ないように隙間をガムテープでふさぐ。

②段ボールの底に下敷き用のダンボールを敷き、基材を入れ、よくかき混ぜる。これで準備完了!!1日に約500グラムを目安として、約3カ月間生ごみを投入できます。

④成功のポイント

①毎日、必ずシャベルなどでよくかき混ぜる。

②防虫・防臭・保温のためバスタオルなどでフタをする。

利用者の声 中館 好江さん(日語在住)

「キットの販売は自分で材料をそろえる手間がなく助かりました。生ごみ特有のニオイがでないで、室内に置いて調理後すぐ処理できて便利です。集積所に出す生ごみはほとんどなくなりました。できた堆肥でキュウリやトマト、インゲンを育てました。堆肥の材料が分かるのでとても安心です。子どもたちも『おいしい』と好評なので来年も野菜づくりに利用したいです」



コンポスト キット 取り扱い場所

- 環境課
- フリマ探偵団くまがい
- 紫波みらい研究所

■詳しい作り方などの問合せ先

環境課 循環政策室
☎(672)68992 内線3515

建築コストも満足 町産木材で資源循環

町産木材を使って住宅や事務所を建てたとき、町は補助金を出したり税金を安くしたりしています。平成16年から始まったこの優遇措置。これまでに利用した人にアンケート調査を行いました。この結果は、今後の事業を進める上での参考とさせていただきます。

アンケート結果より

Q1 建築前に町産木材利用に対する町の補助制度を知っていましたか？

知っていた 50 %
知らなかった 50 %

Q2 町産木材を使った理由は？

建築会社の勧め 6件
環境に配慮 3件
所有する森林の有効活用 2件
優遇措置が受けられる 1件

Q3 補助金の交付を受けた結果、建築コストは？

安いと感じた 40 %
同じ位と感じた 60 %
高いと感じた 0 %

Q4 感想は？

- ・建築後も木材の品質は安定しています。
- ・木の柱や梁は、心が休まる雰囲気をつくってくれます。
- ・工務店の適切な対応で補助制度を教えていただき満足しています。

利用者の声

工藤 主計さん(赤沢在住)

「先祖代々守り育てた木を使って家を建てたいと考えていたところ、市販の木材と比較しても価格差がなかったので利用を決めました。地元で育った木は外来の虫などの心配がなく安心して使えますし、紫波の気候・風土に合っていますから長持ちすると考えています。町からの補助金や固定資産税の減免も助かっています」



- ・町産材を使用した住宅建築をもっと広報したほうがいい。
- ・現物サンプルから希望したものを使用できればいい。

環境にやさしい 買い物 キャンペーン

10月は「3R推進月間」です

一人一人の心がけ次第で環境にやさしい買い物はすぐにでも実践できます。あなたもこの機会に今一度買い物について見直し、環境にやさしいライフスタイルを実践してみませんか。

●買い物にはマイバッグを持参する

●詰め替えの商品を購入する

●スプーンやフォークなど使い捨てのものはもらわない

※3Rとは、リデュース(ごみの発生抑制)・リユース(再利用)・リサイクル(再生利用)の3つの単語の頭文字をとった言葉で、資源循環型のライフスタイルを実践するうえで、基本となる取り組みを表しています。

■問合せ■

環境課 生活環境室

☎(672)2111

内線3521~3523

地 区	集積所番号
日詰5区	A1-1(51)
日詰11区	A1-2(18)
古館6区	A2-1(6)
古館15区	A1-3(11)
古館17区	A1-3(70)
水分4区	C1-1(19)
志和8区	C1-2(48)
志和16区	C1-3(61)
赤石3区	A2-1(90)
赤石11区	A2-3(125)
彦部9区	A2-3(D'39)
佐比内7区	C2-2(92)
赤沢4区	C2-3(60)



ごみ集積所審査

平成23年度 「優良ごみ集積所」決定！

紫波町環境衛生組合連合会は、ごみの減量化、資源リサイクルの推進を図るため、毎年優良なごみ集積所を表彰しています。町内全地区の集積所を回り、分別・収集日程の順守状況や、集積所内と周辺の清掃状況を点検し決定するものです。平成23年度の優良ごみ集積所は次のとおりです。

【点検者から一言】

ごみカレンダーや分別方法などの張り紙により細かな指導を行っている集積所や清掃用具などがきちんと整備されている集積所も多くありました。

また、最近の問題として、幹線通り沿いの集積所では区域住民以外の者による集積所への悪質な不法投棄が行われており、警告文書の張り紙による防止努力がなされているところもありました。

■問合せ 環境課 生活環境室 ☎(672)2111 内線3521~3523

平成22年度決算の状況 実質公債比率の大幅改善「18%未満」達成

歳入

125億9851万円

36
・
2
%
自主財源

町税 29.6億円 (23.5%)
町民税 …………… 11億9702万円
固定資産税 …………… 15億 843万円
軽自動車税 …………… 8209万円
町たばこ税 …………… 1億5062万円
鉱産税 …………… 17万円
入湯税 …………… 1835万円

繰越金 3.5億円 (2.8%)

地方交付税 45.0億円 (35.8%)

63
・
8
%
依存財源

地方譲与税 2.8億円 (2.2%)
交付金 3.8億円 (3.1%)

国・県支出金 19.0億円 (15.0%)

使用料・負担金など 4.1億円 (3.2%)

児童施設等利用負担金 …………… 1億1739万円
国営土地改良事業負担金 …………… 9594万円
温泉施設利用料 1412万円
住宅使用料 …………… 3639万円
財産収入 …………… 3310万円
寄附金 …………… 4691万円

繰入金 3.9億円 (3.1%)

基金からの繰入金 …………… 2億8782万円

諸収入など 4.5億円 (3.6%)

学校給食費 … 1億6900万円
雑入 …………… 7821万円

町債 9.7億円 (7.7%)

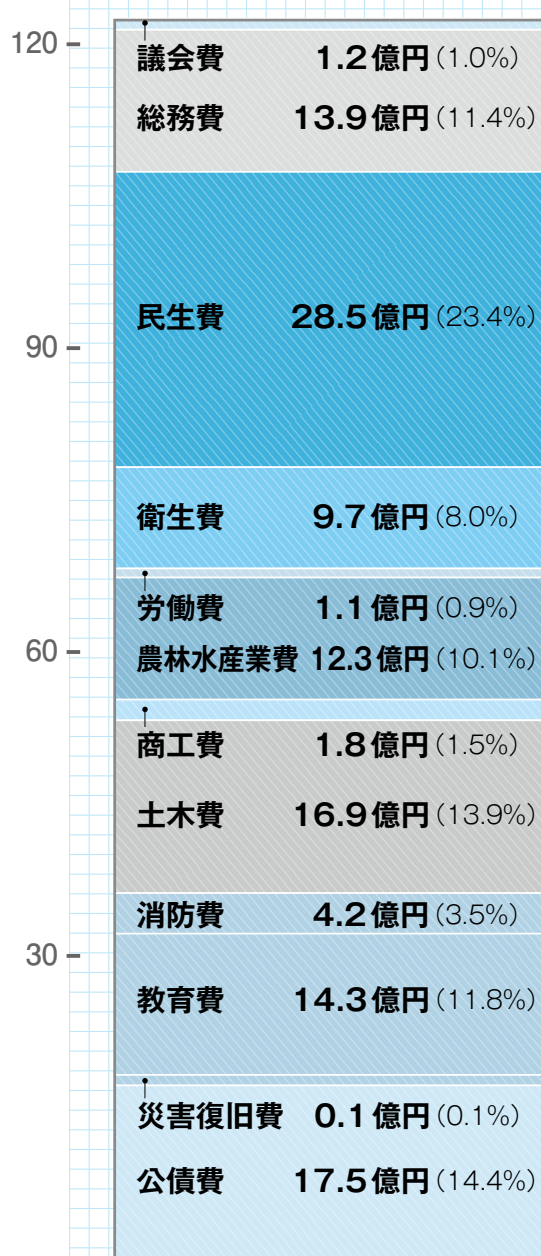
農村整備事業債 …………… 470万円
道路橋りょう整備事業債 … 2490万円
都市計画事業債 …………… 1億720万円
消防施設整備事業債 … 1560万円
中学校整備事業債 …………… 3510万円
社会教育施設整備事業債 …………… 1億1250万円
臨時財政対策債 … 6億7143万円

一般会計からの繰入金	(割合)
7億 370万円	45.9%
4億 444万円	83.5%
1971万円	15.0%
1億9239万円	5.6%
6237万円	30.2%
2億8647万円	13.6%
—	—
16億6908万円	21.1%
480万円	0.8%
536万円	3.3%

平成22年度の決算額は、歳入が125億9850万8千円、歳出が121億5394万6千円で、前年度と比較すると歳入が7億3845万3千円、歳出が6億4788万5千円それぞれ増加しています。過去の決算額と比較すると平成15年度とほぼ同額となっています。平成23年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支額は、1億9584万8千円で、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は4082万2千円の赤字となり、実質単年度収支は4億8355万3千円の黒字となりました。

歳出

121億5395万円



内訳はP10参照

歳入

歳入は、平成21年度と比較して繰入金が2億円増加しています。これは、歳入の不足を補うため基金を取り崩して一般会計に繰り入れたためで、基金の目的に応じて町債の償還や公共施設整備、まちづくり事業などに使われました。

町債は実質公債費比率の上昇を抑えるために新たな借入を控えているものの、古館公民館集会所整備のための借入や臨時財政対策債の大幅な増加により2億5千万円増加しています。「町税」「使用料・負担金など」や「諸収入など」の自主財源が経済情勢の悪化などにより8千万円減少しています。

歳出

歳出は、平成21年度と比較して民生費が4億4千万円増加しています。これは、子ども手当、国民健康保険事業や介護保険事業への繰入金、福祉サービス費が増加したことによるものです。また、公債費も3億6千万円増加しています。4億3千万円の

繰上償還を行ったことや町債管理基金への積立金の増加によるもので、町債の現在高は98億円となっています。さらに、教育費も古館公民館集会所施設整備事業、図書館開設準備事業費の増加などにより2億9千万円増加しています。一方、総務費は定額給付金交付の完了や緊急経済対策事業費が減少したことなどにより5億円減少しています。

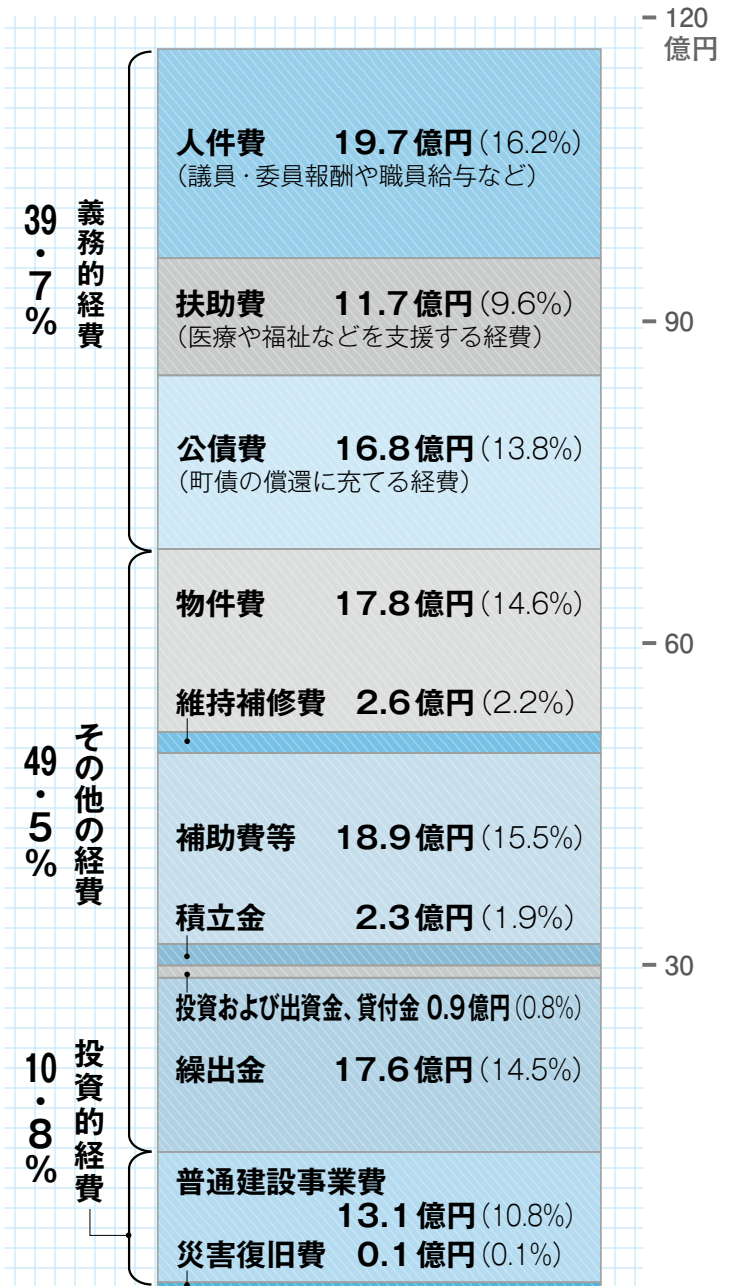
特別会計・企業会計決算総括表

会計名		歳入	歳出
特別会計	公共下水道事業	15億3160万円	14億8837万円
	農業集落排水事業	4億8449万円	4億5353万円
	管理型浄化槽事業	1億3140万円	1億2301万円
	国民健康保険事業	34億1968万円	32億1932万円
	後期高齢者医療	2億621万円	2億461万円
	介護保険事業	21億1013万円	21億148万円
	介護予防サービス計画事業	861万円	766万円
	合 計	78億9212万円	75億9798万円
企業会計	水道事業	6億3616万円	5億9682万円
		1億6017万円	3億8104万円

経常収支比率82・0%

経常収支比率は、財政の弾力性を判断する指標です。町税や交付税のように毎年度経常的に入ってきて使い道が特定されない財源が、人件費や扶助費、公債費など毎年度経常的に支出される経費に使われた割合です。決算額がほぼ同額の平成15年度と比較すると人件費は1割減少していますが、公債費はほぼ同額、扶助費は1.8倍となっています。平成15年度の経常収支比率は77.4%でした。経常収支比率は70%以内が望ましいとされており、人件費の抑制や公債費の償還を順調に行っていますが、扶助費の増加などにより数値が高くなっています。

性質別経費の内訳



歳出内訳 (抜粋)	
議会費	議員報酬・手当…8578万円、政務調査費…101万円
総務費	行政区長…3039万円、ICT推進…6227万円、循環・エネルギー…1072万円、協働推進…2076万円 広聴広報…2237万円、庁舎・財産管理…4367万円 交通対策…1620万円、交通安全…723万円 国勢調査…1032万円、緊急経済対策交付金事業…1億5439万円 選挙事務…1177万円
民生費	老人クラブ・敬老会…897万円 障害福祉サービス費…3億3418万円、補装具等給付…1504万円、防犯対策…272万円 福祉医療費給付…1億6903万円 特別会計繰出金…5億4123万円 子ども手当…5億7464万円、保育所・児童館・こどもの家…3億4632万円 災害救助費…2935万円
衛生費	予防接種…定期 4480万円・任意 1406万円 循環型エコプロジェクト…1031万円、母子・成人保健…7827万円、火葬場…9364万円 ごみ処理…4億7386万円、し尿処理…7444万円 管理型浄化槽事業繰出金…1971万円 上水道事業繰出金…2899万円
労働費	青少年ホーム…1290万円 勤労者生活安定資金預託金…300万円 雇用対策事業補助金…709万円 ふるさと雇用再生特別基金事業…5746万円 緊急雇用創出事業…3045万円
農林水産業費	農業委員報酬…635万円 国営土地改良負担金…2億4587万円 フルーツパーク運営…2551万円 いわて希望農業確立緊急総合支援…3940万円 食育推進…258万円 農政補完組織設立準備…241万円 えこ3センター…5101万円 農山漁村活性化プロジェクト…3300万円 中山間地域直接支払交付金…5902万円 農村整備負担金…5546万円 森林・林業・木材産業づくり…4921万円 森林整備加速化・林業再生…3786万円 農業集落排水事業繰出金…4億274万円 中小企業振興資金貸付預託金…3300万円 消費者救済資金預託金…3100万円 温泉施設補修・備品購入…3220万円 商工業振興補助金…1100万円
商工費	道路除雪…1億794万円 町道舗装・側溝整備工事…3811万円 ふるさとの道づくり…215万円 道路新設改良…4155万円 日詰地区まちづくり交付金事業…3008万円 日詰駅前土地区画整理…8917万円 都市基盤整備事業(紫波中央駅前)…3億3177万円 木造住宅耐震改修補助金…120万円 住宅改修支援事業…287万円 公共下水道事業繰出金…7億311万円 盛岡地区広域行政事務組合負担金…3億1771万円
土木費	消防団員報酬…1778万円 消防車両購入…1775万円
消防費	紫波町奨学金貸付基金繰出金…2197万円 外国語指導助手派遣…979万円、就学援助…2822万円、スクールヘルパー…813万円 教育用コンピューター…生徒 2877万円・教師 229万円 小学校体育施設整備設計…1428万円 中学校耐震補強工事…8564万円 私立幼稚園補助金…2822万円 文化財調査…122万円、野村胡堂・あらえびす記念館…1870万円 公民館長・指導員報酬…3099万円 古館公民館集会施設整備…2億5261万円 図書館開設準備…2652万円 運動公園等・多目的スポーツ施設管理…4082万円 給食材料費…1億6669万円
教育費	大雨による災害復旧費…1072万円 地方債償還金…16億8250万円 基金積立金…7170万円
災害復旧費	
公債費	

健全化判断比率・資金不足比率の公表

健全化判断比率は、町の財政状況の健全度を示す比率です。

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4つの指標のいずれかが早期健全化基準以上となると「財政健全化計画」を定め、財政の早期健全化を図らなければなりません。また、財政再生基準以上になると、国の管理下で再建に取り組む「財政再生団体」となります。

町の健全化判断比率は、4指標とも早期健全化基準を下回っています。

実質赤字比率…なし

町の普通会計の実質赤字額の財政規模に対する比率で、町の普通会計の赤字の程度を表しています。

実質赤字額がないので指標はありません。

連結実質赤字比率…なし

町のすべての会計における実質赤字額・資金不足額総額の財政規模に対する比率で、町全体としての赤字の程度を表しています。

すべての会計において実質赤字額・資金不足額がないので指標はありません。

実質公債費比率…16.8%

町が負担した借入金返済額の財政規模に対する比率で、3カ年の平均値です。数値が高いほど返済している負担が重いことを示しています。

繰上償還を継続して実施してきたことにより、一般会計の借入金返済額が減ってきており、21年度と比べると2.2%減少しています。

将来負担比率…86.6%

町が将来的に負担する債務総額の財政規模に対する比率で、数値が高いほど、今後返済する負担が重いことを示しています。

21年度と比べると28.7%減少しています。

資金不足比率…なし

公営企業の事業規模に対する資金不足額の比率で、自治体が運営する公営企業の健全度を示しています。資金不足額は、一般会計における赤字に相当するもので公営企業会計ごとに算出します。すべての公営企業会計において、資金不足額がないので指標はありません。

資金不足比率と基準の比較 (%)

公営企業会計名称	比 率	経営健全化基準
水 道 事 業 会 計	—	20.0
紫波公共下水道事業特別会計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	
管理型浄化槽事業特別会計	—	

健全化判断比率と各基準の比較 (%)

名 称	比 率	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	—	13.63	20.0
連結実質赤字比率	—	18.63	40.0
実 質 公 債 費 比 率	16.8	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	86.6	350.0	

実質公債費比率が18%以上になると、町債の発行に県の許可が必要ですが、町はこれまで、18%を上回っていたため、平成18年度に策定した「公債費負担適正化計画」を毎年度見直し、新たな借り入れの抑制や繰上償還の実施、PFIやPPPなど民間活力の利用により費用の節減に努めるなどしてきました。この結果、実質公債費比率は大幅に改善し、目標としていた平成24年度を前にして18%未満を達成することができました。

そこで町は、限られた行政経営資源をどのように行政サービスの提供に生かせばよいのか、行政経営課題に対応しながら基幹政策を着実に実現していくために、平成16年度に「自立計画」を策定しました。

「自立計画」を毎年度行う評価と効果測定の結果に基づいた見直しをすることで、行財政環境の変化に対応するとともに、自主財源の確保、事務事業の見直し、コスト削減など健全な財政運営に努力しています。

3. 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間 (平成23年4月1日現在)

勤務時間	休憩時間
午前8時30分～午後5時15分	正午～午後1時

※勤務場所や職種によって異なる場合があります。

(2) 主な休暇、休業の種類と概要

種 類	概 要	日数・期間
年 次 休 暇	1年ごとに付与される休暇	20日(前年繰越含み最高40日)
病 気 休 暇	負傷・疾病のため療養する場合の休暇	3月以内(特に必要と認められる場合は6月以内、結核性疾患は1年以内)
特 別 休 暇	公 の 職 務	裁判員、証人等として裁判所、その他官公署などへ出頭するための休暇
	職員の結婚	結婚に伴う行事などのための休暇
	職員の出産	出産前の休暇
		出産後の休暇
	子 の 看 護	病気やけがをした小学校就学前の子を看護するための休暇
	子 の 保 育	1歳に達しない子を保育するための休暇
	妻 の 出 産	職員の妻の出産に伴う休暇
	育 児 参 加	妻が出産する場合に、当該出産に係る子または小学校就学前の子を養育する場合の休暇
	親族の死亡	配偶者
		父母
		子
		祖父母・兄弟姉妹・配偶者の父母
		その他
	夏 季 休 暇	心身の健康維持や家庭生活の充実のための休暇
	短 期 介 護 休 暇	配偶者、父母、子などの介護や、通院の付き添いなどの必要な世話をするための休暇
	介 護 休 暇	配偶者・父母・子・配偶者の父母などを2週間以上介護する場合の休暇
	育 児 休 業	3歳に満たない子を養育する場合
	育児短時間勤務	小学校就学前の子を養育する場合
	育児部分休業	小学校就学前の子を養育する場合

(3) 年次有給休暇の取得状況(平成22年1月1日～12月31日)

1人当たり平均取得日数	9.2日
-------------	------

(4) 育児休業の取得状況 (平成22年度新規取得)

区 分	男 性	女 性	計
取得者数	1人	2人	3人

4. 職員の服務の状況

(1) 職務専念義務免除の状況

職員が研修を受ける場合や人間ドック受診などの厚生事業に参加する場合には、任命権者の承認を得ることにより、職務に専念する義務が免除されます。

平成22年度 承認件数	26件
-------------	-----

(2) 営利企業等従事許可状況

職員が営利を目的とする会社などの役員を兼ねたり、報酬を得て事業や事務に従事する場合は、任命権者の許可を受ける必要があります。

平成22年度 許可件数	3件
-------------	----

5. 職員研修の実施状況

区分	研修名	受講者数
階層別一般研修	新規採用職員研修、一般職員基礎研修、監督者級研修、管理者級研修	66人
専門事務研修など	人事・法規・財務・税務・契約・政策形成・政策法務・人事評価・メンタルヘルス ほか	37人
専門機関等による研修	市町村アカデミー、(財)電源地域振興センター、日本経営協会 ほか	37人
その他研修	行政調査研修など	37人
職場研修	ごみゼロ運動、新規採用職員研修、接遇研修	47人

6. 職員の福祉および利益保護・福利厚生事業の状況

(1) 健康診断の状況 (平成22年度実績)

区 分	対象者数	受診者数	受診率
生活習慣病予防健診	241人	232人	96.3%
胃がん検診(35歳以上)	151人	137人	90.7%
人間ドック(40・45・50・55歳)	34人	13人	38.2%

(2) 公務災害補償の状況

職員が公務上の災害(負傷、疾病、傷害および死亡)または通勤による災害を受けた場合、地方公務員災害補償法に基づいて、その災害による損害の補填(補償)がなされます。

平成22年度 認定件数	2件
-------------	----

(3) 町職員互助会の決算(収入)状況

地方公務員法第42条に基づく町職員互助会のほかに、県市町村職員互助会に加入し、職員の健康管理事業などの福利厚生事業を行っています。町職員互助会の経費は、職員からの会費と町の補助金で運営され、給付事業はすべて職員会費のみで行っています。

	職員会費	町補助金
平成22年度	1,091,036円	334,982円
平成21年度	1,108,885円	433,940円

町の人事行政状況を公表します



1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 採用の状況

(単位:人)

	一般事務職	技術職	保健師	保育士	計
平成23年度	6	1	1	0	8
平成22年度	9	2	0	0	11

(2) 退職の状況

(単位:人)

	定年退職	勸退	奨励退職	自己都合退職	割愛・退職派遣	その他	計
平成22年度	2	3	1	0	2	2	8
平成21年度	0	10	0	2	0	0	12

※その他: 死亡退職・分限免職・懲戒免職・失職

(3) 職員数の推移 (各年4月1日現在)

(単位:人)

	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
職員数	265	258	250	244	244	243	243
前年差	△6	△7	△8	△6	0	△1	0

※特別職、臨時職員などは含みません。

(4) 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	22年	23年		
普 通 会 計	議 会	2	2	0
	総務企画	50	51	1 防災対策拡充のための増員
	税 務	15	14	△1 死亡退職による欠員の不補充
	民 生	54	54	0
	衛 生	15	15	0
	農林水産	16	17	1 業務量増による増員
	商 工	5	5	0
	土 木	18	18	0
	教 育	35	35	0
公 営 企 業 等 会 計	小 計	210	211	1
	水 道	9	9	0
	下 水 道	10	9	△1 業務完結による減員
	そ の 他	14	14	0
合 計	小 計	33	32	△1
	合 計	243	243	0

※特別職、臨時職員などは含みません。

2. 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (22年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 (A)	職員人件費 (B)	人件費率 (B/A)
34,092人	12,150,184千円	1,660,482千円	13.7%

※町長などの特別職と一般職の職員に支払われた人件費で、水道などの公営企業等職員、各種委員、臨時職員などに支払われた人件費は含んでいません。

(2) 給与費の状況 (普通会計決算)

年 度	職員数 (A)	給与費			1人当り給与費(B/A)
		給料	職員手当	計(B)	
22年度	210人	758,174千円	397,948千円	1,156,122千円	5,505千円
21年度	209人	756,930千円	407,361千円	1,164,291千円	5,571千円

※給与費は、一般職の職員に対する給料、扶養手当および期末・勤勉手当などの諸手当に要する経費で、町長などの特別職、公営企業等職員、臨時職員などの分は含んでいません。

※共済組合の負担金、退職手当は含んでいません。

(3) 平均給料と平均年齢の状況 (平成23年4月1日現在・一般会計)

職 種	紫波町		国	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	304,324円	40.8歳	327,205円	42.3歳
技能労務職	306,383円	44.0歳	283,862円	49.5歳

※平均給料月額: 基本給の平均 ※技能労務職: 用務員、運転手、調理師

(4) 初任給の状況 (平成23年4月1日現在)

区 分	初任給
一般行政職	大学卒 172,200円
	高校卒 140,100円
技能労務職	高校卒 137,200円

(5) 職員手当の状況

① 期末・勤勉手当 (平成23年4月1日現在)

区 分	6月期	12月期	計
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分
勤勉手当	0.675月分	0.675月分	1.350月分

※支給割合は国と同じ

② 時間外等勤務手当 (普通会計決算)

平成 22 年度	支給総額	66,243 千円
	支給対象職員 1 人当り支給年額	366 千円
平成 21 年度	支給総額	44,435 千円
	支給対象職員 1 人当り支給年額	239 千円

③ 特殊勤務手当 (平成22年度・普通会計決算)

職員全体に占める手当支給職員の割合	10.5%
支給対象職員の平均支給年額	21,382円
手当の種類	8種類
主な手当の名称	税務手当、道路上作業手当など

※著しく困難な仕事などに携わる職員に支給

④ 扶養・住居・通勤手当 (平成23年4月1日現在)

区 分	内 容
扶養手当	配偶者 月額 13,000円
	配偶者以外の扶養親族 月額 6,500円
	配偶者がいない場合の 1 人目 月額 11,000円
	16 歳～ 22 歳の子に対する加算額 月額 5,000円
住居手当	月額 12,000 円以上の家賃支払者 限度額27,000円とし家賃の額に応じて支給
通勤手当	自家用車等使用者 限度額28,400円とし通勤距離に応じて支給
	交通機関利用者 限度額45,000円とし運賃の額に応じて支給

※通勤手当は、通勤距離が片道 2 km以上の職員に対して支給

(6) 特別職の報酬等の状況 (平成23年4月1日現在)

区 分	報酬など月額	期末手当
町 長	780,000円	6 月期 1.40 月分 12 月期 1.55 月分 計 2.95 月分
副 町 長	610,000円	
議 長	338,000円	
副 議 長	275,000円	
議 員	248,000円	

お知らせ

秋の総合検診のお知らせ

春に行われた総合検診を受けられなかった人を対象に秋の総合検診を行います。「春には時期的に忙しかった」「転入したばかりで検診を受けることができなかった」という人は、ぜひこの機会にお受けください。

【日程・対象地区】

日 程	対象地区
11月10日(木)	彦部・佐比内・赤沢・長岡
11月11日(金)	日詰・水分・志和
11月12日(土)	古館・赤石
11月13日(日)	全地区対象

【受付時間】午前7時～10時30分

【会 場】保健センター

【対 象 者】春の総合検診を受けていない人

【検診内容】基本健康診査／特定健康診査／後期高齢者健康診査／基本チェックリスト／肝炎ウイルス検査／結核検診／肺がん検診／前立腺がん検診／胃がん検診／大腸がん検診

※大腸がん検診を希望する人は、11月1日から容器と問診票を配布しますので、直接保健センターにお出かけください。

★詳細については、広報とともに全戸配布している秋の総合検診案内チラシをご覧ください。

お知らせ

平成
23年度

インフルエンザ補助 10/20 から

町は、予防接種を希望する下記対象者に接種費用の一部を補助します。

種類	高齢者インフルエンザ予防接種 (2類定期接種)	小児インフルエンザ予防接種 (任意接種)
対象者	①65歳以上の人 ②60～65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる機能障害が身障者手帳1級である人	6カ月～中学3年生
実施方法	委託医療機関に個別に予約し、年齢確認のための保険証を持参し接種してください。	委託医療機関に個別に予約し、年齢確認のための母子健康手帳または保険証を持参し接種してください。
実施期間	10月20日(木)～平成24年1月31日(火)	
接種回数	高齢者1回 小児 接種日時点で13歳未満は2回、13歳以上は1回 (2回目の接種日時点で13歳未満の人は2回目も公費負担します)	
補助金額	2000円(13歳未満の人は2回補助) 各医療機関の接種料金のうち、補助金額を超えた分は自己負担です。 ※生活保護を受けている人は全額補助	
予診票	紫波郡内の各医療機関(皮膚科・眼科を除く)・盛岡市の委託医療機関に設置。 ◆中学生には、年齢によって接種回数が異なるため事業のお知らせと同時に学校を通じて個別郵送する予定です。中学生専用の用紙を使用します。	
長寿健康課で事前手続きが必要な人(持ち物)	①生活保護を受けている人 ②60歳～65歳未満で予防接種対象者 ③町の委託医療機関外で接種を希望する場合(持ち物)認め印、②の人は身体障害者手帳	①生活保護を受けている人 ※補助が受けられるのは委託医療機関で接種した場合のみです。 ②中学生で2回目の接種も12歳で接種をする場合(持ち物)認め印 ②の人は、1回目の接種済証

予防接種の対象年齢にご注意!!

年齢計算に関する法律によると、誕生日の前日に年齢が繰り上がるため、対象年齢が「13歳未満」の場合は『13歳の誕生日の前前日』までが、接種できる対象です。

■問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

お知らせ

大腸がん検診に 無料クーポン券

本年度から、がん検診受診率50%を目標に大腸がん対策が講じられることになりました。対象者は、無料で大腸がん検診を受診することができます。

対象者には、11月初めに無料クーポン券とがん検診手帳を郵送します。がん検診手帳を読み、無料クーポン券を使って検診をお受けください。受診方法については郵送するクーポン券に記載しています。

◆がん手帳と無料クーポン券をお送りする人

9月30日現在、町内に住民登録している右記の生年月日に該当する人

生年月日

昭和45年4月2日～昭和46年4月1日生

昭和40年4月2日～昭和41年4月1日生

昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生

昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生

昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生

※クーポン対象者で春の総合検診時に大腸がん検診を受診している人は、すでに無料で受診されているので、手帳のみの郵送となります。

※10月1日以降に転入された人は、お問い合わせください。

◆問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

催し

「しわ介護の日」 講演会&相談会

介護についての理解と認識を深めるためのイベントです。どなたでも参加できますので、お申し込みの上、お出かけください。

◆日時 11月14日(月)正午～午後5時

◆会場 ナックスホール **参加無料**

◆内容

①介護講演会(午後3時～4時30分)

「笑顔と元気はつつつ介護力」

講師：笑う介護士 袖山卓也氏

②介護相談会(正午～午後2時30分)

③介護用品展示紹介(介護用ベッド・ロボットスーツ・車いす・歩行器など)

◆定員 150人

◆申込・問合せ 11月9日(水)まで

長寿健康課 高齢者支援室

☎671-1101 有線01-8991



材料(4人分)

小麦粉	200g
くるみ・黒砂糖	適宜
にんじん	200g
ごぼう	200g
干しいたけ(中)	3枚
焼き豆腐	1/2丁
こんにやく	1/2個
油揚げ	1/2枚
ひめたけ(水煮)	1袋
卵	1個
みつば	少々
しょう油	大さじ2
みりん	大さじ2
塩	少々

作り方

- ①小麦粉をお湯で耳たぶくらいの硬さにしとねる。小さくちぎり、中に黒砂糖とくるみを入れて団子を作る。
- ②にんじん、ごぼう、水で戻したしいたけ、焼き豆腐、こんにやく、油揚げ、ひめたけを全部1cmくらいの角切りにして煮る。(焼き豆腐は最後に加える)
- ③材料が軟らかくなってきたら、②にしょう油とみりんを加え、塩で味を調える。
- ④③に①の団子を加えて煮込む。
- ⑤薄焼き卵とみつばを飾ったら出来上がり。

火を止めて30分くらい置くと、味が行き渡り食べ頃になります。しょう油の代わりに味噌大根の千切りを入れてもいいです。

体よるこぶレシピ

県北の郷土料理 「まめぶ」



紫波町食生活改善推進員協議会
水分地区会員 水田 好子さんの
レシピです

今日の 素材 POINT

この料理は、県北の郷土料理です。材料を同じ大きさに細かく切るのは、全てのおわんに同じように具が入るように、という意味があるそうです。また「まめまめしく、健康で達者に暮らせるように」との願いが込められています。

心肺停止の救命手当 宅老施設でAED実習

特定非営利法人宅老所えんどり古館で9月10日、紫波消防署員の指導のもと、自動体外式除細動器（AED）を使用した心肺蘇生法の実習が行われました。同所はAEDを設置しており、施設利用者と職員、地元婦人消防協力隊員ら22人が参加。中川ヒデ子所長は「この施設にはAEDを備え付けてあるので、近くの方々が何かあった場合は遠慮無く利用してほしい」と呼びかけていました。



施設利用者の前で講習を受ける職員たち

赤石剣道スポーツ少年団が 陸前高田と交流

赤石剣道スポーツ少年団は9月23日、長年交流のある水分や盛岡市山岸に加え、日詰や陸前高田市のスポーツ少年団を招待して、剣道交流会を開きました。参加した約80人の剣士たちは、赤石小学校体育館で基本稽古を行い、赤石公民館で昼食のカレーと一緒に食べて親睦を深めました。「合同稽古の機会をいただき本当にありがたいです」と参加者の一人、陸前高田市剣道協会的小笠原修さんは感激していました。



おいしそうに食べる陸前高田市の中学生たち。
カレーの具材は赤石地区の皆さんが支援しました

歩いて元気はつらつ ウォーク日本1800

「歩いて日本を元気に」を合言葉に全国で展開されている「ウォーク日本1800」が、9月17日に紫波町で開催されました。一関市や北上市の団体も加わり、小学生から80歳代までの約200人が参加。紫波運動公園を出発し、紫波南大橋を渡り彦部地区を周回する10キロと6キロのコース。参加者たちは、曇り空の程良い気候の中、黄金色に色づいた田んぼを眺めながら、会話を弾ませ歩いていました。



周囲の注目を集めた200人の大行進



「大きくなったらまた見にこようね」

クマと共生 平成の森に植樹

山王海土地改良区と紫波みらい研究所は9月25日、動物と共生する森づくりと、ダム施設の役割を伝えるため、親子ふれあい研修を行いました。町内外から約70人が参加。町有林「平成の森」の約30ヘクタールにモミジやヤマボウシなど約130本の苗木を植樹し、イワナやヤマメの稚魚をダムに放流しました。長岡小2年生福土翔太君は「植えたナナカマドをおばあちゃんにも見せたいです」と話していました。

吉里吉里と再び 志和で交流学習会

志和公民館で9月23、24の両日、第27回ふるさと交流学習会が行われました。これは上平沢と片寄、そして大槌町吉里吉里の各小学校5年生同士が、お互いの暮らしを学び合うため、夏は吉里吉里、秋は志和で交流する事業。「震災の影響で夏は開催できず、今回は皆さんのご協力で実現できました」と北條文雄館長。51人の児童たちは、稲刈りや餅つきなどを一緒に体験し、上平沢小学校5年生伊藤亜光さんは「楽しい2日間でした。今後は手紙で連絡を取り合います」と笑顔でした。



2日間ですっかり仲良し

中国料理を 作って交流



丁寧に作り方を教える阿部さん（中央）

国際交流協会は8月21日、中国料理食文化交流会を赤石公民館で開きました。黒竜江省出身で赤沢在住の阿部ひとみさんが講師となり、参加した36人がギョーザ作りに挑戦。食文化を学び交流しました。中国では焼きギョーザは賄い食で水ギョーザが一般的とのこと。均等にちぎった生地をめん棒で丸く伸ばし、具材を包みゆで上げました。おいしく学べる楽しそうな交流会でした。

今年も元気に会えたね 各地区で敬老会

町内各地区で敬老会が行われました。志和地区では9月11日、JAいわて中央生活会館で行われ、75歳以上の高齢者215人が参加しました。社会福祉協議会と志和婦人会、志和公民館が共催し、民生児童委員など多くの人たちが運営を支援していました。会場では、虹の保育園の園児や婦人会などの踊りがにぎやかに披露され、顔を合わせた参加者たちが、楽しそうにお酒を酌み交わしていました。



ステージの出し物も楽しみの一つ

ふるさと交流の思い出

9月23日から24日にかけて行われた「ふるさと交流学習会」では、とても楽しいことがたくさんありました。

1日目は、夜にみんなとゲームやおしゃべりをしたことが面白かったです。

2日目は、稲かりやもちつき体験が楽しかったです。吉里小学校のみんなは、稲かりは初めてのようだったけれど、わたしより上手で、初めてじゃないくらいすごかったです。もちつき体験は、ずっと見ていたほつたつたけれど、最後の方でやることができました。あとで食べたきもちとしようもちも、とてももちもちしてやわらかくておいしかったです。自分たちでついたもちを食べるのは初めてです。

何よりも、友達がまたふえたのが一番うれしかったです。わたしは、自分から話しかけることは苦手だけど、みんな積極的に話しかけてくれたので、わたしも、自然と仲間に入れて、七班の全員と友達になりました。吉里吉里の友達とは、住所を交換して、手紙も書いたので、もっと仲良くなれることが楽しみです。

小学生日記

町内各小学校の旬な情報を児童の作文を通じてお届けします。

片寄小学校5年生
細川 優月さん



■日時 11月6日(日)
午前9時30分集合(雨天決行)
■参加費 3000円(昼食代込)

りんご狩り体験コース

館山散策→産直→りんご狩り→農村公園で昼食→古民家見学(午後2時解散)

■日時 11月20日(日)
午前9時30分集合

■参加費 2000円(りんご・バス代ほか)

■持物 昼食、雨具(防寒具)

■集合場所 長岡農村公園

(長岡小学校西側)

■定員 先着各20人

■申込・問合せ 長岡公民館

☎676-3789 有線07-8226

「佐比内金山・隠れ切支丹物語」歴史巡りトレッキング

南部藩最大の金山「朴木金山」跡や、金山の栄華に身を潜め信仰を守り続けた「隠れ切支丹」跡を巡るトレッキングが行われます。お申し込みの上、山歩きに適した服装や靴を用意してお出かけください。

■日時 11月6日(日)

午前9時から受付

9時30分出発(雨天中止)

■集合場所 紫波ふる里センター(産直)駐車場

■コース 佐比内歴史巡りトレッキングコース

■持ち物 弁当、水筒、敷物、軍手、雨具

■参加費 500円

■申込・問合せ 10月31日(月)まで
佐比内公民館 ☎674-2626

手軽に早く美しく 簡単帯結び講座

名古屋帯・袋帯をクリップと洗濯ばさみを使用し一重太鼓、二重太鼓を5分で結ぶ方法を学びます。

■日時 11月10日(木)

午後1時30分～

■会場 水分公民館

■対象 町内在住者(定員15人)

■講師 長谷川栄子さん

■参加費 300円

■持ち物 名古屋帯、袋帯、帯板、帯枕、帯締め、帯揚げ

■申込・問合せ 10月31日(月)まで
水分公民館 ☎673-8222

お知らせ

「子ども手当」 10月から変わります

10月以降の子ども手当は「平成23年度子ども手当特別措置法」に基づき、次のように変わります。

【主な変更点】

●手当の月額(10月分～平成24年3月分)

・0歳～3歳未満:1万5000円(一律)

・3歳～小学校修了前:1万円(第3子以降は1万5000円)

・中学生:1万円(一律)

●受給要件(抜粋)

・子どもと同居している親に支給されます。

・児童養護施設等に入所している子どもの手当は、施設設置者に支給されます。

【所得制限】

特別措置法においては平成24年3月までありません。

■問合せ 福祉課こども室

☎672-2111 内線1531

有線01-8921

中央公民館で本の貸し出し

中央公民館では、移動図書館車「かたくり号」が町内を巡回しない平日に、かたくり号に積載する本を貸し出ししています。

■ご利用できる日時

かたくり号の巡回日(毎週第3週または第4週)を除く平日の午前9時～午後4時(土曜日・日曜日・祝日はお休みです)

■問合せ 中央公民館

☎672-3372

赤い羽根・共同募金のお願い

10月1日から、全国一斉に「赤い羽根運動」として知られる共同募金運動が行われています。社会福祉向上に大きな役割を果たしており、東日本大震災における災害ボランティアセンターの運営にも使われています。目標額が提示されていますが募金は任意です。ご理解とご協力をお願いします。

共同募金の使い道は、インターネットの赤い羽根データベース「はねっと」で見ることができます。

<http://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

■問合せ 岩手県共同募金会紫波町共同募金委員会(社会福祉協議会内)

☎672-3258

薪を販売します!

農林公社では、岩手中央森林組合が製造した薪を販売しています。町産ナラ材の薪は、火持ちが良く火力も安定しています。

■販売期間 11月末まで

■費用 1束(約5.7kg) 350円

100束以上購入で配送無料

■申込・問合せ 紫波町農林公社

☎907-6933 有線 01-2718

相 談

無料労働相談会

労使間の労働問題全般についての相談会が開催されます。

■日時 11月6日(日)

午後1時～4時

■会場 花巻地区合同庁舎

■相談内容 解雇、雇止め、減給、配転、パワハラ、セクハラ、給与手当不当要求、労使紛争など

■問合せ 県労働委員会事務局

☎629-6276

暮らしの情報

催し

健康フォーラム

町の健康課題である「肝炎」について分かりやすくお話しします。

■日時 10月29日(土)
午後1時30分～3時30分

■会場 保健センター

■内容

- ①講演「知っておきたい肝炎のこと」
いわて肝友ネット会長 阿部洋一氏
- ②町の肝炎対策の紹介

■問合せ 長寿健康課 健康推進室
☎672-4522

5年後、10年後のあなたのために！ 元気はつらつ貯筋講座

筋肉をためる“貯筋”の仕方を学びます。

■日時 11月1日、8日、15日
(各火曜日)午前10時30分～正午

■会場 保健センター「元気はつらつ館」

■講師 体育協会 高橋一男トレーナー

■対象 おおむね40歳以上

■定員 10人

■受講料 300円(1回につき100円)

■申込・問合せ

長寿健康課 健康推進室
☎672-4522 有線01-8991

山口流篠笛コンサート

能や歌舞伎などの囃子に使われる篠笛。叙情歌からクラシックまで幅広い曲の演奏と昔語りを楽しむコンサートです。

■日時 10月20日(木)午後1時～

■会場 野村胡堂・あらえびす記念館
■出演 篠笛山口流家元山口千尋／
NHK文化センター盛岡北上教室生桐
音の会／日高見笛の会／しのの音モ
ローオほか
■費用 入館料300円のみ
■問合せ 山口流本部
☎022-244-3998

紫波 ―食彩まつり―

町内の商店・団体・食の匠などが、町の食材を使った創作料理などを出品し、紫波の食材をPRします。

■日時 11月3日(木) 午前11時～
午後3時

■会場 ラ・フランス温泉館ホテル
湯楽々(紫波中央駅から無料送迎バス有り)

■前売食券 1000円(100円券
12枚綴り)当日も販売します。

■申込・問合せ NPO法人紫波みらい
研究所 ☎671-2244

あづまね会席を楽しむタベ

あづまねエリアで収穫された食材のみ厳選使用した会席膳。旬の野菜を中心に、ぬか釜で炊いたご飯や丹精こめて育てた“あづまね豚”、果物、生みたての卵、そして地酒。一夜限りのお楽しみです。

■日時 10月29日(土)
午後6時30分～8時45分

■会場 ラ・フランス温泉館 ホテル
湯楽々

■前売券 6000円(ペア券1万円)

■問合せ あづまねエリア交流連絡
協議会(ラ・フランス温泉館)

☎673-8555

県民の森「森林手入れ講習会」

掛り木の外し方、滑車など補助具の使い方を学びます。

■日時 10月23日(日)
午前9時～午後3時

■会場 県民の森学習館

■申込・問合せ 森林ふれあい学習館
フォレストi ☎0195-78-2092

わくわくうきうきクッキング スクール

学校給食会の施設を見学して、野菜と果物を使ったスイーツを作る料理教室が開催されます。

■対象 小・中学生と保護者、一般
個人の20組

■日時 11月12日(土)
午前8時30分～11時

■会場 岩手県学校給食会(盛岡市
流通センター内)

■参加費 無料

■申込・問合せ (財)岩手県学校給
食会 料理教室 ☎638-9429

地区民がご案内 「長岡探訪ツアー」

「未来の子どもたちに美しい長岡を残そう」という思いで“長岡ゆめプラン”を推進している地域の皆さんが企画したツアーです。

古民家で秋の味覚料理コース

館山で町を展望→金山跡→産直→
古民家の見学と代々伝わる器でいただく
地元料理→農村公園(午後2時解散)

ぎゅうらーめん 牛骨ラーメン

紫波もちもち牛の牛骨から作り上げた
東北では初登場!!

道の駅・紫波 レストラン果里ん亭
☎019-671-1300

680円

紫波町小屋敷新在90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
「ラ・フランス温泉館」検索
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

ハダカのおつきあいー家だんらん。

La France
ラ・フランス温泉館

9月11日新発売! 東日本大震災 復興ワイン

本商品の売上1本につき20円が東日本大震災津波により親を失った子供たちを支える「いわて学びの希望基金」に寄付されます。

無ろ過
メルロー&カベルネフラン
赤・辛口 750ml

1,470円(税込)

(株)紫波フルーツパーク(紫波町第三セクター)
紫波町通山字松原1-11(道の駅紫波の裏手) ☎019-676-5301
URL <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>



こちら、

野村胡堂・あらえびす記念館

「銭形平次を読み解く」

―快感を与える銭形平次の名文―

野村胡堂・あらえびす研究会 外崎菊敏



胡堂は盛岡中学時代に啄木の文章に手を入れ、新聞記者として周囲を驚かせる文才を発揮した人、作家司馬遼太郎は胡堂の文章を「快感を与える」と賞賛した。

胡堂はカタカナ表記で読者の視覚に訴え、外界や人の心の動きを音で表現する擬音語や擬情語（これらを「オノマトペ」という）を随所に用い、文章に勢いを与え人の心をリアルに表現する。『幻の民五郎』はその典型的な作品。「平次はガバツと起き」「曲者はバツと飛び」「お紋はギョツとしました」などがある。

また、「ですます調」で物語るように書き、講談のように会話を中心に物語の筋を進め、分かりやすい文章にしている。さらに、句読点や段落を多くし、「―――」と間合いを取り、「ヘッ」とか「ヘー」、「フム」などを掛け声のように入れ、スピードとリズム感のある文章にしている。加えて、平次と八五郎の会話を洒落を盛り込み、読者を楽しませている。

胡堂は美意識の強い人、「森林画伯」と称して絵も描いた。広重や北斎の浮世絵も蒐集した。銭形平次を読者に色彩豊かな錦絵でも見せるように絵画的に表現する。『花見の仇討』に見てみよう。「巡礼姿の若い男が、虚無僧に斬られて、山は煮えくり返るような騒ぎ、平次は獲物を見つけた猟犬のように、飛鳥山に取って返します。柔らかな夕風につれて、どこからともなく飛んでくる桜の花片、北の空は紫にたそがれ、妙に感傷をそそる夕です。（中略）次第に銀鼠色に暮れ行く空、散りかけた桜は妙に白茶けて、興も春色も褪ると見たのもしばし、間もなく山中に灯が入って、大きな月が霧の中に芝居のこしらえもののように昇りました。」

銭形平次の名文が読者の心を癒し、慰め、楽しませる。

司馬遼太郎 1923～1996、「電馬がゆく」「坂の上の雲」などで知られる。

浮世絵 役者や美女などの似顔絵、風景や花鳥などを描いた民衆的風俗画、この多色刷り版画が錦絵。

ハワードさんの英語クイズ!



ハワード主事と一緒に
“はいポーズ”

紫波三中3年生、生徒会執行部の
高橋瑞稀さん(左)と小田島睦子さん(右)

この英語の質問の答えは何?

Which super hero can only stay on earth for three minutes?

[9月号の答え]
紫波
第三中学校

★正解者の中から3人に図書カードをプレゼント。郵便はがきまたは電子メールで、①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤答え、⑥『紫波ネット』の感想(意見)を記入の上、ご応募ください。締切は11月7日消印まで。

〒028-3392 紫波町役場 企画課情報政策室「英語クイズ」係
Mail: joho@town.shiwa.iwate.jp

中央葬祭センター シンセラホール紫波

喪中はがき承ります

感謝の気持ち お世話になったあの方へ
真心こもったごあいさつ

中央葬祭センター
「シンセラホール紫波」 岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎ 676-7676
FAX 676-4404

紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ

宅地 分譲販売中
古館NT内 4区画
北日詰大日堂 4区画

不動産の売買・仲介、自社開発宅地・建物分譲
(社)全日本不動産協会会員 東北地区不動産公正取引協議会会員
岩手県知事免許(1)2255号

ウエノ不動産管理(有)
☎ 671-2072 FAX 671-2073
日詰字下丸森9-4 (養老乃瀧 紫波町店となり)

最新情報はホームページへ ウエノ不動産管理 検索

古館駅 前郷分譲地 残13区画

9月末日現在
詳細はお問合せ下さい。

広告有効期限/平成23年10月31日

町長からのメッセージ

副町長退任と部長制について

台風12号、15号は、各地に大きな被害を残して通過しましたが、町内においては軽微に終わりました。

さて、5月末日で、高橋副町長が退任されました。在任中は、町政発展にご尽力を賜り心から感謝申し上げます。

町は、機構改革の一環として「行政経営品質向上」に取り組んでおります。この手法は、行政内部に民間経営の視点を導入することで、行政の効率化を図ろうとする取り組みであり、平成14年度から推進してきたところであります。この間、数々の改革を行ってまいりましたが、その一環として、事業本部制を導入する組織機構改革を実施し、部長制を取り入れたところであります。行政を経営する立場で、改革に取り組み、効率化された組織に生まれ変わったと思います。

この様なことから、制度が定着し、副町長が退任の意思を表明されたため、それを受任し、副町長を置かないことといたしました。

町民の皆さまには、行事が重複する際には、部長、課長の代理出席があらうかと思いますが、ご理解を賜り、ご容赦願いたいと思います。今後、東日本大震災のような多事多難がないとも限りません。組織体制は効率化されましたが、町民の皆さまと共に活気あふれる町を築くため、なお一層のご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

藤原 孝

インハイ準優勝 矢羽々選手が報告



秋田県美郷町で8月11日に開催されたインターハイ自転車競技スクラッチ(8キ)で、準優勝を果たした紫波総合高校2年の矢羽々正臣選手が9月6日、町長室を訪れました。「難しいレースでしたが、皆さんのフォローのおかげです」と矢羽々選手。次は、来年3月福岡県開催の全国選抜での入賞を目指します。

俳句の本改訂版完成



「紫波ネット」に平成5年5月から10年3月まで、俳句選者として活躍された日詰地区の高橋秋郊(本名高橋稔)さんが、平成19年に刊行した『紫波俳人録』の増補改訂版を今年9月に自費出版しました。「1人でも多く紹介したかった」と高橋さん。この俳人録は、紫波町にかかわる江戸中期から現代までの約600人の俳句がつけられています。

図書室が8月末で閉鎖



中央公民館の図書室は8月31日、歴代の図書室職員が見守る中、最後の利用者を送り出し閉鎖されました。新図書館が完成するまでの間、中央公民館ロビーとかたくり号で、規模を縮小し業務が継続されます。

中央公民館の図書室は8月31日、歴代の図書室職員が見守る中、最後の利用者を送り出し閉鎖されました。新図書館が完成するまでの間、中央公民館ロビーとかたくり号で、規模を縮小し業務が継続されます。

食欲の秋です!

メガネを替えると、お料理がよく見えて食事が美味しくなります。遠近両用メガネにして、目と舌で「食欲の秋」を満喫して下さい。

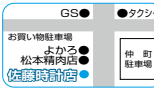
遠近両用レンズ(1組)
10,000円セール!

銭形半次ふるさと紫波町

眼鏡屋 目明かし堂 (有)サトウ時計店

http://www.meakashi.com 日詰バス停前 ☎676-2838

目明かし堂ホームページは音声情報の発信サイトです。店主のWEB音声日誌をお楽しみ下さい。



24年成人式予約承り中

10月定休日
15日・16日・17日・24日・31日
(三連休)

モーニングサービス 10%割引

東日本大震災、被災に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます

相心館 Kam Hikoki

- クリューウェブ(カットフロー別) 120分 4,620円
- 縮毛矯正ストレート 160分 16,800円
- Milk カラー(カットフロー別) 110分 3,675円
- 天然ヘナ&インディゴ(カットフロー別) 140分 4,200円
- ベースカット(S・C・B) 45分 4,935円
- ヘッドスパ 60分 3,675円

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺宇古屋敷 6-31

TEL 019-676-5825

E-mail kamihikoki@posh.jp

OPEN 8:30~CLOSE 18:00

定休日/毎月曜日・第三日曜日





祈願祭で鋤入れをする施工業者代表の佐々木建設(株)佐々木盛雄社長。オガールプラザの建物は、佐々木建設(株)、橘建設(株)、(株)近代建築研究所、(株)中井敬一都市建築設計による特定建設工事共同企業体が施工します。

オガールプラザ いよいよ着工

紫波中央駅前に建設が予定されているオガールプラザ。9月26日に工事安全祈願祭と起工式が行われ、参列した施設・工事関係者など約60人が、工事完了までの無事を祈りました。

オガールプラザは、図書館や地域交流センターなどの公的施設と、産直やオフィスなどの民間施設が同居する官民複合施設。起工式を終えた今、オガールプラザの整備事業を担うオガールプラザ株式会社岡崎正信代表取締役にお話を伺いました。



オガールプラザ(株)
代表取締役 岡崎 正信さん

**公と民の負担は最小限に
町民に愛され人が集う施設を
目指しています**

10年前まで、政府系特殊法人の地域振興整備公団(現・都市再生機構)および旧建設省都市局にて、全国各地の都市再生を手がけていましたが、父親の他界をきっかけに生まれ育った紫波町に帰ってき

ました。故郷に帰ってきて、地域経済の疲弊による閉塞感(へいそくかん)が充満する状況の中で、それまで培った都市再生の経験を生かせる機会としていただいたのが、紫波中央駅前開発(オガールプロジェクト)です。

公民連携手法による開発を検討

平成10年に町が、県住宅供給公社が施行した紫波中央駅前区画整理事業によって生み出された土地を公社から購入しましたが、さまざまな社会的要因によって事業の着手は見送られ、約10年が経過してありました。その中で、紫波中央駅前の未知の可能性を切り開くために、平成19年からPPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)いわゆる、民間の活力や資金を公共目的達成のために活用させていただく「公民連携」の理念を基にした開発手法が検討され始めました。

利益計上できる運営形態を重視

全国各地には、大規模な催し物が終わった後、使われなくなったまま塩漬けになっている競技場や体育館、世界標準のコ

人が集まる拠点づくりと

地元企業の起用で経済循環

世界で成功した都市再生プロジェクト

に共通する点は二つあります。景気に左右されないために、消費目的ではない人が集まる拠点を創出すること、そして町民の財産である土地不動産を有効活用できるファイナンス(財源)として構築することです。つまり、財源の議論無きプロジェクトは、存在しえないということです。

そして、さらに企画段階で重要視したことは、総事業費約11億円にも上るオガールプラザ整備事業を地元の企業に担っていただくことです。地域経済の循環を促す意味もありますが、地元の企業が整備を担うことによってプラザに愛着を持つてくれる人がより増えると考えられるからです。そのために、大規模な木造建築物にもかかわらず、地元の大工さんでも施工可能な構造設計を採用しました。

オガールプラザには、町民が熱望していた図書館や地域交流センターが含まれ、日詰地区を中心とする都市部と農畜産業で町を支えている農村部のより一層の融合を目指した事業でもあります。多くの町民に愛される施設となるよう今後も努力してまいります。



たつみ せい か
異聖歌(1905～1973)
 明治38年生まれ。本名野村七蔵。児童文学形成期に中心的位置にあり、北原白秋門下の歌人としても活躍。童謡『たき火』の作者。日詰小学校、赤石小学校、紫波第一中学校の校歌を作詞。毎年、市民団体により、生誕祭や碑前祭、童謡まつりが開催されています。

かきねのかきねのまがりかど
 たき火だたき火だおち葉たき
 あたろうかあたろうよ
 北かぜぴいふうふいている

皆さんご存じの童謡「たき火」。この歌を作詩したのは名譽町民の異聖歌です。この歌が誕生して今年で70年目を迎えました。

異聖歌童謡まつり実行委員会は、毎年主催の「異聖歌童謡まつり」を、70周年記念事業として、内容をより充実させて盛大に開催します。

また、この節目に合わせ、実行委員のひとりである野村晴一さん(野村胡堂・あらえびす記念館館長)は、異聖歌の童謡43曲を収めた『異聖歌童謡曲集』を自費出版しました。その完成記念として、異聖歌童謡まつり実行委員会主催による「異聖歌童謡コンサート」が開催されます。

岩手県長寿社会振興財団助成事業

「たき火」誕生 70 周年記念

異聖歌 童謡まつり

～つたえよう、たきびの心～

2011.10/22(土)

午後1時開場、午後2時開演

会場 ナックスホール

入場無料

- ・紫波ウインドアンサンブル演奏 ・開会セレモニー
- ・異聖歌の長女が語る童謡『たき火』と異聖歌
- ・異聖歌作詩曲の鑑賞(歌:ソプラノ歌手川原井泰江)
- ・歌の交流 ・みんなで歌いましょう

『異聖歌童謡曲集』完成記念

異聖歌 童謡コンサート

～よみがえる日本の原風景～

2011.10/21(金)

午後1時30分開場、午後2時開演

会場 野村胡堂・あらえびす記念館ホール

前売1000円、当日1200円

■前売券販売所 野村胡堂・あらえびす記念館／よんりん舎／日詰公民館／ナックス案内所／ラ・フランス温泉館／畠山カメラ店／矢巾町田園ホール

■内容 ソプラノ歌手の川原井泰江さんが、異聖歌の童謡26曲を歌います。ピアノ伴奏は植田さや香さん、特別ゲストに異聖歌の長女中川やよひさんと作曲家の浅香満さんをお招きします。

主催 異聖歌童謡まつり実行委員会

問合せ 日詰公民館 ☎671-1642

シリーズ 行ってみよう

私の好きな紫波百景



きれいな水と空気を育む山王海の秋

「山王海の紅葉」

紫波町を中心に、北は矢巾町、南は花巻市石鳥谷町の一部まで、北上川西部の水田に、自然の恵そのまゝの安全な清水を供給する山王海ダム。今回は、日々、ダムの整備に携わっている山王海土地改良区の阿部事務局長にお話を伺いました。

山王海ダムの周辺は、春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、そして山菜採りやきのこ採りと、四季折々に自然の楽しみがあります。

中でも私は、毎年10月半ばごろから見頃を迎えるダム周辺の紅葉をお勧めします。ダムの外周は20^キほどありますので、車を走らせての紅葉狩りはいかがでしょうか。5〜11月の毎月第2土曜日、第3水曜日（午前9時〜正午）は、管理事務所の門を開放していますので、堰堤（えんてい）や事務所などを見学しに、お気軽にお立ち寄りください。

山王海土地改良区は、来年で創立60周年を迎えます。一般の人にもダムに親しんでもらおうと7年前から「親子ふれあい研修」を開催し、湖面に小繰り舟ごんべえ丸を浮かべて楽しんでもらっています。3年前からは、動物と共生する森を創ろうと「平成の森」への植林活動も行っています。一般参加者と一緒に、これまでにクリやヤマボウシ、イロハモミジなど14種類を植樹しました。まだ小さい木々ですが、クマに注意しながら見にいらしてください。

毎年10月に開催される紫波町産業まつりでは、「水土里ネット」ブースを設け、平成の森や親子ふれあい研修の写真展示を行いますので、こちらにもぜひ見にいらしてください。



お話を聞かせてくださった
阿部清人さん

